



ご挨拶

本日は“*A-Winds 20*”2006年春の演奏会にお越し下さり誠にありがとうございます。「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で、皆様方とこうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds*一同心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めとする、四季折々に開催する我々*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラの定期演奏会も、本日をもって記念すべき20回目を迎えることができました。我々*A-Winds*の活動、そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方に団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを、活動方針に掲げ、作曲家の方々を実際に練習にお招きして、ご自身の作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙にも取り組み活動してまいりました。

この歴史の一頁を刻むべく、日本で最も注目を集める新進気鋭の作曲家“高昌帥”さんに吹奏楽作品を委嘱させていただきました。ダイナミック且つ繊細にそして美しく。。。“記念演奏会”の名に相応しいその作品を、本日この舞台上で世界で初めて皆様に披露いたします。

この作品を始め、我々の奏でる演奏が、いつまでも皆様の心の中で鳴り響き続ける音楽でありますよう、これからも精一杯心のこもった音楽活動を続けたいと思います。

最後になりましたが、本公演開催にあたり、この素敵な作品を作曲から合奏指導そして本番舞台の指揮にと、惜しめない情熱を注いで下さった“高昌帥”さんと、この舞台裏を支えて下さった数多くの方々に演奏会実行委員を代表しまして、厚く御礼申し上げます。今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

“演奏会 素敵な出会いで 20回♪”

“*A-Winds 20*”2006年 春の演奏会 実行委員長 魚谷昌克



ご案内

“*A-Winds 21*”2006年 夏の演奏会

2006年6月4日(日) 14:00開演

「お客様と一緒に楽しめる曲を揃えてお届けします！ ご来場の皆様！ 演奏の準備はよろしいでしょうか…？ ホール全体で楽しみましょう！」をコンセプトにお届けいたします。皆様のご来場をお待ち申し上げております。

“*A-Winds 21*”2006年 夏の演奏会 実行委員長 板垣麻子



A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Pic	佐藤 由加里♪	Tp	大西 伸幸◇ 國元 昌広◇
Fl	佐藤 司♪ 魚谷 陽子 東村 悠	表	恭子 吉川 茂宏 魚谷 昌克♪ 篠木 章江♪ 小川 耕二☆ 山本 洋介☆
Ob	松本 紘子♪ 篠藤 文子☆	Tb	萱原 淳嘉 楠 純子 岡田 卓也 辻 淳
Es.Cl	長尾 恭子♪	Euph	大西 善郎 忠澤 直美
Cl	畑澤 淳子 辻 美保♪ 青山 洋美 竹村 明恵 森本 幸恵 栗原 茂美 大江 奈々 和田 麻佑	Tuba	平野 幸子 吉田 新司 室安 望美
Al.Cl	大西 晴己	C.Bass	尾崎 拓也◇
B.Cl	尾崎 玲奈	Per	平井 晶 荒井 智子 板垣 麻子 辻 歩 久保 寛美 川本 理恵 豊川 史香
Fg	萱原 美華子♪ 満江 孝文	Piano	八木 真木
A.Sax	島田 博一 田中 香菜絵	☆エキストラ	
T.Sax	初岡 和樹	◇休団	
B.Sax	鹿野 麗子♪	♪2006年春の演奏会実行委員	
Hr	小川 貴子 久野 耕三 次田 哲平 小林 計昭♪ 池原 裕子		



A-Winds メンバー募集

- 募集パート
 - ・オーボエ (イングリッシュ・ホルン) 1名
 - ・B♭クラリネット 1名
 - ・バス・クラリネット 1名
 - ・トランペット 1名
 - ・コントラ・バス 2名
 - A-Winds*の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
 - ご自分で楽器を準備できる方
 - 全ての活動に賛同頂ける方
 - 18歳以上の方
- 問い合わせは先<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2006年3月12日(日) 14:00開演
やまと郡山城ホール大ホール

主催●*A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラ
後援●大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム

◇第1部

Belle of the Ball

舞踏会の美女

作曲者：L. アンダーソン／Leroy Anderson

出版社：Belwin Mills Publishing Corp

指揮者：佐藤 司

The Hounds of Spring

序曲「春の獵犬」

作曲者：A. リード／Alfred Reed

出版社：Piedmont Music Corp

指揮者：魚谷 昌克

LAMENT for Wind Orchestra

吹奏樂のためのラメント

作曲者：高 昌帥／Chang Su KOH

出版社：All Japan Band Association

指揮者：高 昌帥(客演)

◇第2部

Armenian Dances Part II

アルメニアン・ダンス パート2

1. 風よ、吹け(農民の訴え)／Hox Arek (the Peasan’s Plea)

2. クーマル(結婚の踊り)／Khoomar (Wedding Dance)

3. ロルヴァ・ホロヴェル(ロリの歌)／Lorva Horovel (Songs from Lori)

作曲者：A. リード／Alfred Reed

出版社：Birch Island Music Press

指揮者：魚谷 昌克

*A-Winds*20 記念演奏会委嘱作品

Mindscape for Wind Orchestra

吹奏樂のためのマインドスケープ

作曲者：高 昌帥／Chang Su KOH

出版社：未出版

指揮者：高 昌帥(客演)



曲目解説

(文・魚谷 昌克)

■Belle of the Ball●舞踏会の美女／L.アンダーソン

アンダーソンは日常生活の中から材料を見つけたして素晴らしい音楽にすることが上手な作曲家です。この曲はそんな彼の代表作の一つで、1951年に作曲された絢爛豪華な音の洪水のような魅力に溢れた舞曲です。

“舞踏会”といっても、ウィーンで開かれる舞踏会というよりは、まるでミュージカルのワンシーンのような音楽からは、ワルツを踊る人々の中に、肩もあらわなドレスでひときわ人目をひく気品高くて美しいBelle(最高の美女)が踊る姿が目に見えそうです。本日お越しのお客様にとつての「Belle」を思い浮かべながら聴いてみてはいかがでしょうか。

■The Hounds of Spring●序曲「春の獵犬」／A.リード

あまり知られてないかもしれませんが、実はこの曲は、委嘱作品なのです!カナダのオンタリオ州ウィンザーの町のジョン・L・フォスター・セコンダリースクールバンドの委嘱で作曲され、そのバンドの指揮者ジェラルド・A. N. ブラウンに捧げられ、初演は1980年5月8日にリード自身の指揮でこのバンドにより行われました。曲を通じて6／8拍子を主体とした軽快なリズムと4／4拍子の美しいメロディの見事な対比で“若い快活さ”と“優しい愛の甘さ”を音楽として表現しています。何より私が若き16歳の時、高校1年生の初めてのコンクールで演奏した、熱き夏の思い出の曲でもあります。

■LAMENT for Wind Orchestra●吹奏樂のためのラメント／高 昌帥

2002年度の全日本吹奏楽コンクールの課題曲として取り上げられた、高昌帥氏の作品の中でも最も有名な曲のひとつで、*A-Winds*でもコンクールで演奏した想い出深い作品です。題名の通り、終始一貫して悲しみや嘆きの歌が流れ、時には感情が昂揚し、時には思いを押し殺したように、比較的遅いテンポで流れていきます。冒頭はHrn.とEup.により自由なリズムで悲しみを訴えるように始まり、そして打楽器と木管楽器によるクレシェンドの後に、Trp.とTrb.による深い悲しみの叫びが、全奏の5度和音に支えられて続きます。アクセント・テヌートの指示のように太く十分響いた音楽の中で、節度を持って揺れるテンポ感が、悲しみの表現を一層広げます。やがて冒頭の変形した動きがリード楽器を加えて現われ、ユニゾンの音楽を持って静かな動きへと移っていきます。中低音楽器による陰鬱な和音の中で、Trp. が哀歌を歌いあげ、そのメロディーは楽器を替えつつ次第に音量を増し、長い上行旋律をTuttiで繰り返し、拡大したコラーレ的な動きや、冒頭の再現と続き、壮大なクライマックスを形成して曲は終わります。最近の課題曲にはない、後期ロマン派的なスタイルで書かれていて色彩感の豊かさ、感情の多様性が見事に表現されている曲で、“第12回朝日作曲賞”を受賞され、名実ともに後世に残る名曲となったこの作品を、高昌帥氏ご自身のタクトと*A-Winds*の演奏で本日皆様に披露します。

■Armenian Dances Part II●アルメニアン・ダンス パート2／A. リード

イリノイ州立大学のバンドディレクターを務めていたハリー・ピジンという人物によるリード博士へのこれもまた委嘱作品なのです!

この“アルメニアンダンス”は、第1楽章に当たる部分が1972年夏に作曲され、1976年2月に後半の3楽章分が加えられました。全4楽章の演奏時間にして30分にも及ぶ、リード自身が「傑作中の傑作」と称する作品です。

楽譜は、全楽章の完成を待たずに1楽章の部分をアルメニアンダンス・パート1として、1974年にサム・フォックス社より出版され、後半はパート2としてバーンハウス社から1978年に出版されたため、それぞれ単独で演奏される機会も多いですが、本来は4つの楽章が一体となって演奏されるべき組曲なのです。

*A-Winds*としては全曲通してお聴き頂きたいところですが、本日はその中から、下記後半の3つの楽章を披露します。

1 楽章「風よ、吹け(農民の訴え)」

若い農夫が山に向かって、「どうか優しい風を吹かせておくれ、そして私の苦しみを拭い去っておくれ」とその心中を切々と祈るエレジーです。

2 楽章「クーマル(結婚の踊り)」

クーマルとは、アルメニア人の女性の名前です。アルメニアの田舎で軽やかに踊る村の子供たちや、素朴な結婚式の情景などを表現したスケルツォです。

3 楽章「ロルヴァ・ホロヴェル(ロリの歌)」

農民の労働の歌を集めたものを、吹奏楽曲のフィナーレにふさわしい壮大なスケクチャーとして展開。4000曲ものアルメニア民謡旋律の中から引用した悲痛なメロディーで始まり、ひたすら急ぐ賑やかなプレスト、ゆっくりと歩む中間部のメロディ、ふたたび力強いプレストで賑やかなうちに曲を締めくくります。

(文・高 昌帥)

■Mindscape for Wind Orchestra●吹奏樂のためのマインドスケープ／高 昌帥

作曲家にもよるのですが、私は作曲後にタイトルを決めるタイプでして、これにいつも苦心しています。

播磨南高等学校吹奏楽部委嘱作品である「カーニヴァル・デイ」、当初は「ポルカマーチ」として発表していましたが、オランダのデ・ハスケ社から出版される際に、出版社の意向で改題されました。急速で華々しい性格のこの曲にとっては「カーニヴァル・デイ」のほうが相応しいように思います。

2002年度吹奏楽コンクール課題曲に選ばれた「ラメント」も、作曲後何とかこの曲のイメージを言葉で表すことが出来ないものかと、音楽辞典のA行から読み出してやっと見つけたのがラ行、嘆き・嘆き歌を意味する「ラメント」に巡り合い、無事に名付けることが出来ました。

本日が初演となります、*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ委嘱作品「Mindscape」に至っては、「心象風景」くらいの意味ですから、曲のイメージを伝えているんだかどうか甚だ疑わしくなってきます。曲はパーカッションによる幻想的な序奏と、複雑なリズム構造と、激しく訴えかけてくる性格を持つ第1部、寡黙なまでに静的で、たゆたうように歌う第2部とから成ります。全く相反する性格をもつこれら主要2部ですが、共通のモチーフによってコインの表裏のように分かちがたく結び合わされております。

作曲の委嘱を受けて、何度か*A-Winds*の皆さんと話し合いを持つ過程で私の心に浮かんだ音楽的な風景を音にしたわけですから

「Mindscape」。

本当にタイトル付けて難しいですね。



プロフィール

■高 昌帥(コウ チャンス)

1970年、大阪生まれ。

大阪音楽大学作曲科卒業後、スイス・バーゼル音楽アカデミー留学。

これまでに作曲を田中邦彦、R.ケルターボーンの各氏に、指揮をJ.マイヤー氏にそれぞれ師事。

第5回吹田音楽コンクール作曲部門一位無しの二位。

第13回名古屋文化振興賞作曲部門佳作。

第1回コダーイ記念国際作曲コンクール佳作。

第12回朝日作曲賞受賞(2002年吹奏楽コンクール課題曲『ラメント』)。

第1回COMINES-WARNETON国際作曲コンクール「イヴ・ルルー賞」受賞。

プロ・アマ問わず多数の委嘱を受け、管弦楽・吹奏楽・室内楽など様々な編成の作品を作曲する傍ら、アマチュアオーケストラや市民バンドの指導にも携わる。